



第18回

大相撲春場所3日目・会心の大栄翔

※2023年3月の毎日新聞記事を元にした文章です。校閲し、直すべきところを指摘してください。なお、番付やしこ名は春場所開催時の呼称です。

大相撲春場所3日目(3月14日・

ボディメーカーコロシウム)

初場所で優勝し、綱取りがかか
かる大関・貴景勝は平幕・正代を
押し出し、2連勝で白星を先攻さ
せた。

関脇は若隆景が阿炎にはたき込
みで敗れて3連勝。豊昇龍は寄り
切りで小結・琴の若を破って初勝
利をつかみ、新関脇の霧馬山は玉
鷲をすくい投げで降し、2勝目を
挙げた。

◇

返り三役の小結・大栄翔が持ち
味を発揮した。会心の一番で平幕
の竜電を押し倒し、初日から3連
勝を飾った。

上位陣の取りこぼしが目立つ中
で、優勝経験のある実力者の心身

の充実ぶりが伺える。相手に立ち
合いから低く当たって一気に前に
出た。ぐい、ぐいと腕がよく伸び、
竜電ののど輪をとらえて圧倒した。
内容も伴った勝利にも、大栄翔は
「突きの面で回転できていなかった。
そこをしっかりともう少し回転
できていれば」と反省も忘れなか
った。

先場所の初場所で3場所ぶりに
2桁勝利を挙げ、小結に戻った。
好調の一因には、所属する追手風
部屋勢の勢いがある。同じく返り
三役の小結・翔猿は初日に大関・
貴景勝を破るなど躍動し、こちら
も3連勝。この日は同部屋の総勢
5人の関取がそろって白星を挙げ、
全体でも敗れたのは2日目の遠藤
の1敗のみだ。

「みんな調子いいと思う。同じ部屋で良いライバルだと思ってやっている」と大栄翔が言えば、翔猿も「切磋琢磨せつたくくましてみんなでやってきたのでうれしい」。20代後半から30代前半と年齢代も近く、刺激げいこし合いながら稽古けいこを摘とんでいる。初日からの3連勝は初優勝した2021年初場所以来。「気持ち的にはすごいいいし、体的にもいいと思う。ここから気乗っけてどんどんやりたい」と大栄翔。勢いを継続していきたい。